

NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構のこれまでとこれから

NPO法人広域連携医療福祉システム
支援機構（略称:NPO法人GCMS）
理事長 周藤安造

NPOの 設立趣旨と活動目標

1. 25年問題に向けたシステム提案とモデル開発

団塊の世代が後期高齢者となり、医療、介護、福祉サービスが急増するいわゆる「25年問題」に対応する「地域連携ネットワークシステム」の構築と実現を目指した活動を行う。ニーズ急増が予想される、在宅医療・介護や遠隔医療、日常のケアに対応するネットワークシステムおよび関連する医療機器、ソフトウェアのシステム提案とモデルの開発をする。

2. 産学交流と医工連携の推進

当NPOは、医療介護支援サービスの提供側（シーズ側）と要医療介護側（ニーズ側）との円滑な結合役として産学交流と医工連携を推進する。

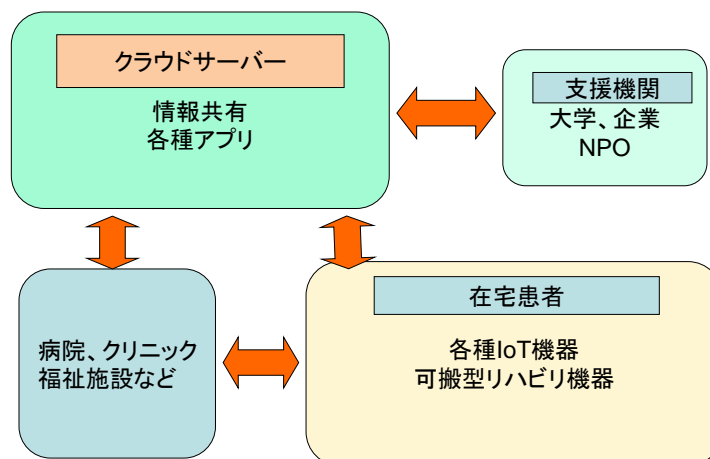
。

25年問題ソリューション事業への取り組み

1. オンライン医療・福祉システム構築支援

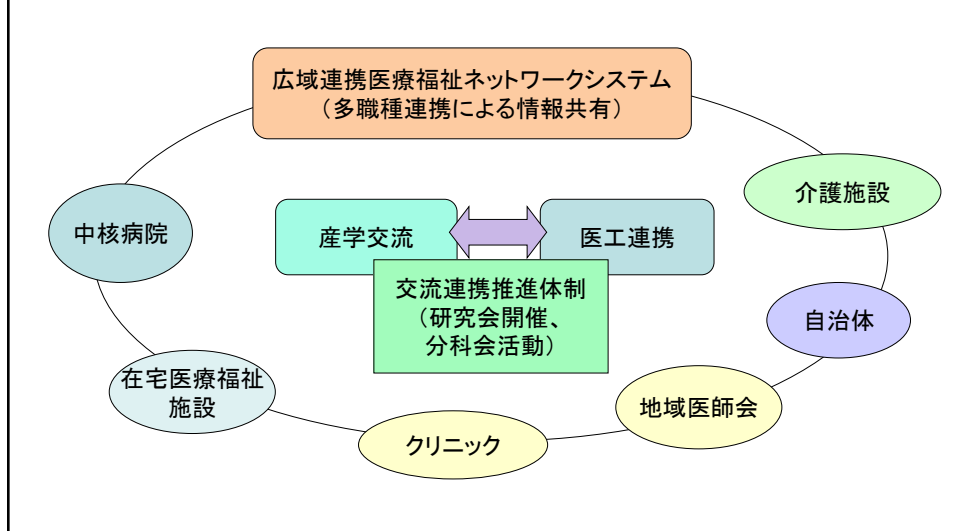
2. 広域連携医療福祉ネットワークシステム構築支援

オンライン医療・福祉システム構築支援



広域連携医療福祉ネットワークシステム構築支援

1



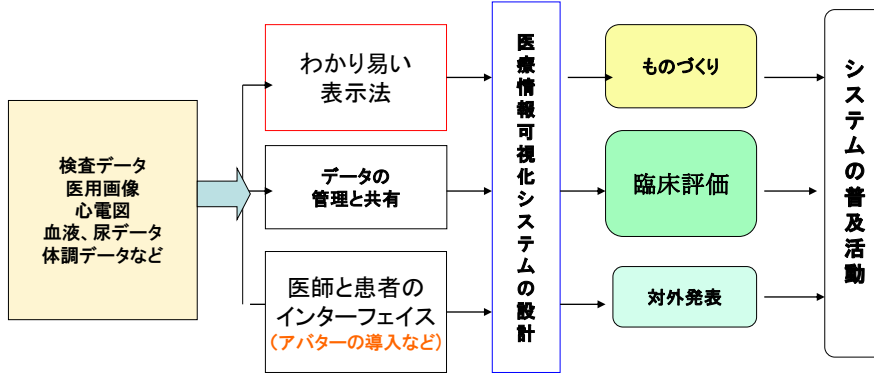
現在進行中の主なプロジェクト

1. クリニック向け医療情報可視化システム開発事業
2. デジタル出版事業

クリニック向け医療情報可視化システム開発事業

2

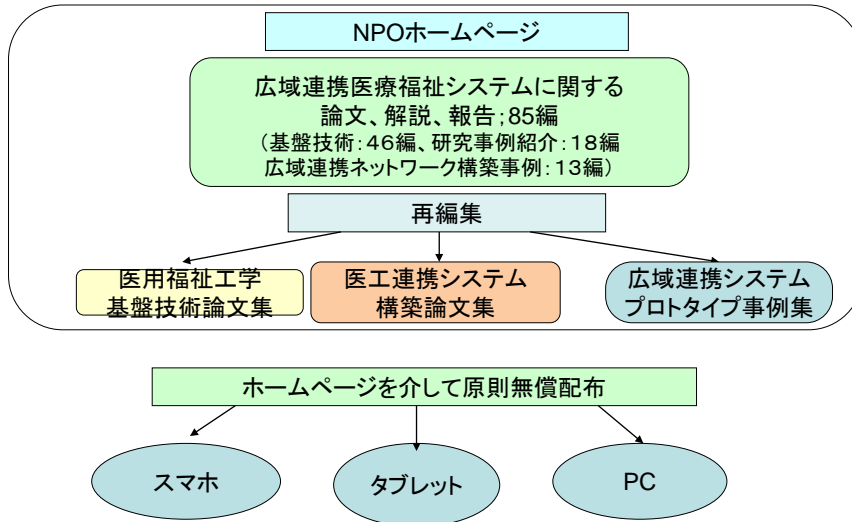
現状では、健診などでの検査結果は必ずしも患者にわかり易く伝わっていない。これを解決するプロジェクトである。



次のステップでは、オンライン診療や在宅医療に繋げる。

デジタル出版事業

25年問題を間近に医療福祉に関わるICT技術者育成を支援する。



これまでの主な活動実績

- 研究会、分科会開催活動
- 産学交流と医工連携推進活動

研究会、分科会開催活動

GCM研究会の開催

GCM研究会とNPO法人GCMSの共催により、広域連携医療ネットワークシステム研究会をこれまでに18回開催した。

NPO/GCM交流フォーラム

NPO法人GCMSとGCM研究会のメンバー間および産学官での交流推進を目的とし、「25年問題」などについてテーマを絞り、掘り下げた議論を行っている。これまで8回開催した。

分科会活動

脳機能解析応用分科会、遠隔医療システム分科会、福祉ロボット分科会、医療介護支援分科会でそれぞれ「25年問題」について多様な視点から議論している。

以上の活動の詳細はいずれもホームページ(<http://gcmwso.web.fc2.com/>)に掲載。

産学交流と医工連携の推進

NPOが仲介役となり、以下の医工連携/産学交流を推進した。

1. 横浜国立大学未来情報通信医療社会基盤センター(MICT)との連携推進
研究会などを通じ、MICTと東海大学医学部、NPO会員企業との連携を推進した。
2. 東海大学医学部付属病院と(株)アイ・エム・ティーとの連携推進
東海大学医学部付属病院の指導により、消臭・抗菌寝具(ベッドシーツ、枕カバー)を開発し、その消臭効果について臨床評価を進めている。
3. 東海大学学内介護用VR研究プロジェクト立ち上げ支援
医学部と情報理工学部との連携に関わった。

おわりに

ご清聴ありがとうございました。

NPO法人GCMS